

区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

巻頭言

ペットロス

橋 村 直 隆

(橋村医院 院長)

ペットは家族の一員として深く愛情が注がれています。私たち家族も犬や猫とともに暮らしてきました。周囲にはウサギ・ニワトリ・小鳥などいろいろな小動物が多数いました。ペットがいることが当たり前の生活です。一戸建てに移ってからは、小型犬から中・大型犬と多頭飼いが始まりました。多い時は四頭のイヌたちに囲まれてお世話が大変でした。

10年ほど前、私どもの友人が愛犬を亡くしペットロスに陥っていました。「ペットロス症候群」になりやすい人の特徴には5つあるとのことです。

1. 責任感が強く後悔しやすい人
2. ペット中心の生活を送っている人
3. 単頭飼いの人
4. ペットに話しかけている頻度の高い人
5. 一人暮らし

自分自身はどの特徴にもあっていないと思っていました。しかしながら、一昨年からのたて続けに三頭のイヌたちが他界しました。特にドッグダンスや旅行など一緒に行動していたスタンダードプードルは上顎洞癌による急速な進行のため十分な治療が施されず今でも悔やんでいます。

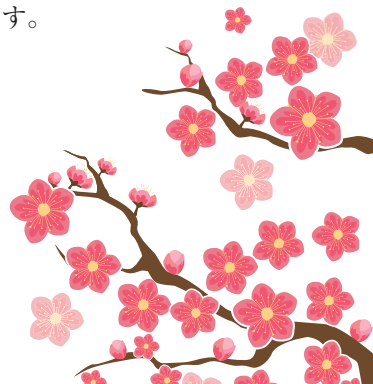
以前にドッグセラピーの記事を書きましたが、ペットには心の安寧に大きな効果がある

と思われます。最近、高齢者施設でも生きものの以外にペットロボットが活躍し、アニマルセラピーと同等の効果が期待されています。ストレスの軽減・癒し効果・意欲の向上が見られます。ペットとして一番重要なことは、言葉のやり取りではなく、相手の反応に合わせてアクションが非言語的コミュニケーションとして発揮されることです。ペットロボットを介してリラックス効果を発し、様々なコミュニケーションをとれやすくしています。「ロボットセラピー」と言われています。

ウィズコロナの時代にあって、人とのコミュニケーションが減り、家族内の会話さえも希薄になるような気がします。ソーシャルディスタンスが求められる世の中になっても、AI（人工知能）などのテクノロジーを駆使し、人間同士の接し方に変化が出てくるかもしれません。触れ合うことがヒトとしての生き方である以上、触れ合うことの大切さを認識することが重要です。

ペットロスはしばらく続きそうですが、ペットたちには感謝しています。

最後に今年一番うれしかったこと。泣いている孫（6か月）を抱っこしたとき、突然泣き止んだことです。最近手を差し伸べてくれます。



理事会報告

2.25

◎令和4年度月定例理事会

日 時 令和4年2月25日(金)

午後8時～9時20分

場 所 WEB 会議システム (Zoom)

協議事項

1. 令和4年度事業計画について

＜徳田副会長＞

資料に沿って協議の結果、提案どおり了承。

2. 令和4年度予算について

＜久保田副会長＞

資料に沿って協議の結果、担当ごとに予算について再度確認することとなった。

3. その他

なし。

報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について

(2月25日(金))

＜有田会長＞

次第は次のとおり。

▷開会

▷会長挨拶

▷連絡事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策の件
- (2) 新型コロナウイルス感染症の検査費用に関するアンケート調査結果の件
- (3) 毎日新聞健康コラム「ご近所のお医者さん」へのご寄稿のお願いの件
- (4) 診療報酬明細書等の交換廃止の件
- (5) 3月度行事・会合日程および令和4年度主要行事・会合日程の件
- (6) その他

▷協議

▷閉会

(詳細 略)

2. 大阪市医師会連合会委員会について

(2月21日(月))

＜有田会長＞

次第は次のとおり。

▷協議事項

- (1) 令和4年度事業計画(案)の件
- (2) 令和4年度歳入歳出予算(案)の件
- (3) 令和4年度会議日程(案)の件
- (4) その他

▷報告事項

- (1) 大阪市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会(1月31日)報告の件
- (2) その他

▷連絡事項

- (1) 北圏域の大阪市認知症疾患医療センター(連携型)について
- (2) 大阪市3歳児健康診査における屈折検査導入の件
- (3) 大阪市がん検診申込書・個人票等にかかる記載内容の変更について
- (4) 令和3年度発行無料クーポン券利用期間の延長について
- (5) 令和4年度大阪市保健事業委託料の件
- (6) 新型コロナウイルス感染症対策の件
- (7) その他

(詳細 略)

3. 第52回近畿地区医師会共同利用施設連絡協議会について

(1月29日(土))

＜徳田副会長＞

次第は次のとおり。

▷開会

▷パネルディスカッション

「コロナ禍における医師会共同利用施設の現況と今後の課題について」

▷特別講演

▷次期担当県(兵庫県)挨拶

▷閉会

(詳細 略)

4. 浪速区認定審査会委員連絡協議会について

(2月10日(木))

＜徳田副会長＞

次第は次のとおり。

▷開会

-
- ▷議案
- (1) 令和4年度4月からの認定審査会運営について
 - (2) 令和3年度大阪市介護認定審査会役員会資料について
 - (3) 事例研究
 - (4) その他
- ▷閉会
- (詳細 略)
5. 勤務医部会ブロック合同懇談会について
(2月24日〈木〉) <徳田副会長>
次第は次のとおり。
- ▷開会
- ▷挨拶
- ▷報告
- (1) (府医) 令和3年度大阪府医師会役員と勤務医部会役員との懇談会(9月2日)
 - (2) (日医) 令和3年度全国医師会勤務医部会連絡協議会(10月2日)
 - (3) (府医) 令和3年度在阪5大学医師会役員・2行政医師会役員との懇談会(11月25日)
- ▷講演
- (1) 「新型コロナウイルス感染症 最近の話題」
 - (2) 意見交換
- ▷閉会
- (詳細 略)
6. 医療情報委員会について
(2月17日〈木〉) <久保田副会長>
次第は次のとおり。
- ▷開会
- ▷報告事項
- (1) 今後の医療情報委員会 Web 会議運用について
 - (2) (日本医師会より依頼) オンライン診療に関するアンケート調査について
 - (3) 「日本医師会 Web 研修システム」の都道府県医師会等への提供について
- ▷協議事項
- (1) 第34回医療情報に関する講演会について
 - (2) 諮問事項について
「医師会活動および医療現場における ICT 活用について
～with コロナ時代の対応を含めて～」
- ▷今後の日程
- ▷閉会
- (詳細 略)
7. 自立支援型ケアマネジメント検討会議について
(2月16日〈水〉) <藤吉副会長>
次第は次のとおり。
- ▷検討会議の趣旨について
- ▷守秘義務について
- ▷出席者の自己紹介
- ▷検討事例
- ▷まとめ
- (詳細 略)
8. 予算委員会について
(2月7日〈月〉) <木田理事>
協議事項「2」と同様。
- (詳細 略)
9. 浪速区学校保健協議会役員・理事会について
(2月18日〈金〉) <中村理事>
次第は次のとおり。
- ▷案件
- (1) 令和3年度決算報告・事業報告について
 - (2) 令和4年度予算案・事業計画案について
 - (3) その他
- (詳細 略)
10. その他
なし。
- 次回理事会
令和4年3月14日〈月〉 午後8時～
-

2月度 学術講演会報告

日 時 2月19日(土) 午後2時～
演 題 高血圧治療のエッセンスと
新たな戦略
講 師 日本生命病院
副院長 兼 内科統括 兼
腎臓内科部長 宇津 貴 先生
出席者数 15名
共 催 ノバルティスファーマ株式会社
大塚製薬株式会社
担 当 富永良子

はじめに

フラミンガム研究によって高血圧が心血管疾患の危険因子であることが報告され、血圧管理の重要性が認識されるようになってから50年以上が経過した。その間に多くの降圧薬が開発され、またそれらの薬剤に関するエビデンスも蓄積してきている。しかし、実臨床における血圧管理は未だ不十分である。本講演では、現在の血圧管理の問題点とともに、新たな降圧薬であるアンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬(ARNI)に関し述べてみたい。

目標血圧と血圧管理状況

2019年に改訂された高血圧治療ガイドライン(1)では、75歳未満の成人・冠動脈疾患患者・脳血管障害患者(両側頸動脈狭窄や脳主幹動脈狭窄なし)の目標血圧をこれまでの診察室血圧<140/90 mmHgから<130/80 mmHgに、75歳以上の成人に対しても<150/90 mmHg(忍容性があれば140/80 mmHg)から<140/80 mmHgに引き下げている。また、新たに抗血栓薬服用中の患者に対する目標診察室血圧を<130/80 mmHgと定めた。なお、本ガイドラインで、2014年のガイドラ

インから目標値が下がったのは、2015年に厳格降圧が心血管合併症や生命予後を改善することを報告したSPRINT研究が大きく影響している。降圧目標は厳格化されたが、140/90 mmHgまで血圧が管理されている高血圧患者は3人に1人もいない。2017年の調査では、わが国の高血圧有病者4300万人のうち44%が治療を受けておらず、治療を受けているものの50%以上がコントロール不良(>140/90 mmHg)としている(1)。血圧管理が不十分な患者は、慢性腎臓病(CKD)や糖尿病など、厳格な管理が必要な患者群で多いことが知られており、今後、対策を考える必要がある。

血圧コントロール不良の要因

・クリニカルイナーシャ

イナーシャ(inertia)とは、怠惰・惰性の意で、クリニカルイナーシャは、治療目標が達成されていないのに治療強化が適切にされていない状態を指す。前述のように治療を受けている高血圧患者の50%以上が目標降圧に達していない現状は、降圧が難しく管理不十分であるより、医療者側の介入が不十分な可能性がある。患者と医療者の双方が、降圧目標を共有することがイナーシャを防ぐために必要であろう。

・仮面高血圧

診察室で測る血圧は管理できているが家庭血圧や自由行動下血圧はコントロール不良である状態で、正常血圧の仮面によって高血圧が隠されていることを指す。仮面高血圧を診断するためには、携帯型血圧測定(ABPM)や家庭血圧測定が必要で、通常は家庭血圧で判断する。家庭血圧測定に関しては、患者向けにも様々なパンフレットが作成されているが、原則として1機会2回の測定を行いその平均値を用いること、高血圧の診断や降圧薬の効果判定には少なくとも5日間の平均値を用いること(1)に留意しておきたい。あの、家庭血圧の目標値は、診察室血圧より収縮期・拡張期のいずれも5 mmHg低く設定されている。

・血圧の食塩感受性亢進

治療抵抗性高血圧とは、降圧薬を3剤併用しても目標降圧に達しないものをさし、心血管

疾患の発症リスクが高いことが知られている。加齢、肥満、糖尿病、CKDなどが治療抵抗性のリスク因子として知られている(2)。また、加齢、肥満、糖尿病、CKDのすべてが血圧の食塩感受性を亢進させる因子として知られている(3)。なお、利尿薬投与下においても減塩は降圧効果を示すこと(4)、食塩の過剰摂取は仮面高血圧の要因であることが知られている(5)。

ARNIと血圧管理

サクビトリル/バルサルタン(エンレストR)が2021年9月に高血圧症に対する追加承認を取得し高血圧治療薬の新たな選択肢となった。本薬はレニンアンジオテンシン系阻害とナトリウム利尿ペプチド系(ANP/BNP)の増強による降圧機構を有し、食塩感受性の亢進した患者に対する効果も期待される。なお、わが国で行われたオルメサルタン20mgとの比較試験ではサクビトリル/バルサルタン200mgがオルメサルタン20mgに比し治療8週後の座位平均収縮期血圧の基礎値からの低下が5.01 mmHg大きかったことを報告している。

おわりに

血圧管理に関し、現在の問題点と新たな薬剤に関し概説した。コロナ禍の現状では、患者への説明が不十分になりやすいが、クリニカルイナナーシャに陥らないように留意し診療にあたりたい。

参考文献

- 1) 日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会(編)．高血圧治療ガイドライン2019, ライフサイエンス出版, 2019
- 2) Egan BM., et al. Uncontrolled and apparent treatment resistant hypertension in the United States, 1988 to 2008 Circulation 2011;124:1046-58
- 3) Uzu T. Salt and hypertension in diabetes. Diabetol Int. 2017;8:154-159
- 4) Pimenta E, et al. Effects of dietary sodium reduction on blood pressure in subjects with resistant hypertension: results

from a randomized trial. Hypertension. 2009 ;54: 475-81.PMID: 19620517

5) Uzu T. High sodium intake is associated with masked hypertension in Japanese patients with type 2 Diabetes and treated hypertension. Am J Hypertens. 2012, 25, 1170-1174,

6) Rakugi H, et al. Efficacy of sacubitril/valsartan versus olmesartan in Japanese patients with essential hypertension: a randomized, double-blind, multicenter study. Hypertension Research. In press

4月度学術講演会のお知らせ 【WEB講演会】

4月の浪速区医師会講演会の内容は下記のとおりです。なお、今回はWEBでの開催を予定しております。ご参加希望の方は、事前に**本会までメールにてお申込み**いただきますようお願いいたします。

日時：令和4年4月16日(土)

午後2時～4時

場所：【WEB講演会】

演題：「コロナ禍での不眠症治療

～睡眠薬も世代交代の時代に～」

講師：大阪鉄道病院 精神神経科

部長 江村 成就 先生

共催：一般社団法人 浪速区医師会

エーザイ(株)

情報提供：エーザイより製品紹介「デエビゴ」

申込先：浪速区医師会

naniwakuishikai@isis.ocn.ne.jp

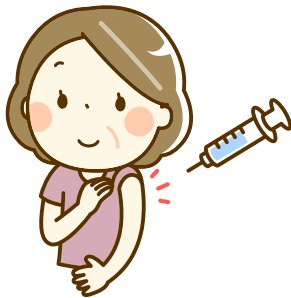


浪速区在宅医療・介護連携相談支援室 からのお知らせ

2月の相談件数は7件でした。かかりつけ医の相談と訪問看護ステーション検索に関しての相談と、コロナワクチン接種に関しての相談でした。

1月に引き続き2月も新型コロナウイルス、オミクロンが猛威を振るい連日の陽性者数の更新の日が続きました。2月下旬になり下降傾向がみられていますが油断はできません。

3回目の接種がお済でない方は、なるべく早く接種するようお勧めします。
在宅医療、介護において何か困ったことや問い合わせ等ありましたらご連絡ください。



相談受理実績

■ 個別ケースに関する相談（R04.2月度）

① 医科	0件
② 歯科	0件
③ 薬局・薬剤師	0件
④ 病院 地域連携相談室	3件
⑤ 訪問看護	0件
⑥ 介護支援専門員	1件
⑦ 地域包括支援センター	3件
⑧ ⑥⑦以外の介護関係事業所	0件
⑨ 認知症初期集中支援チーム	0件
⑩ 他区在宅医療・介護連携支援室	0件
⑪ 区役所・保健福祉センター	0件
⑫ 区民	0件
⑬ その他（ ）	0件
合 計	7件

■ 相談内訳（重複有）

① 医 療	① 診療所・医師に関して	2件
	② 訪問診療できる医療機関に関して	2件
	③ 病院（入院・転院先等）に関して	1件
	④ 歯科に関して	0件
	⑤ 薬局・薬剤師に関して	0件
	⑥ 訪問看護に関して	1件
	⑦ 医療の手続きに関して	0件
	⑧ その他	2件
② 介 護	① ケアマネに関して	0件
	② 地域包括支援センターに関して	0件
	③ 介護事業所等に関して	0件
	④ 介護の手続きに関して	0件
	⑤ その他	0件
	③ 退院支援に関して	0件
	④ 看取りに関して	0件
	⑤ その他（内容： ）	0件
	合 計	8件

＜お問合せ＞ 浪速区在宅医療・介護連携相談支援室
〒556-0022 大阪市浪速区桜川 4-11-16 アリタビル50B
TEL:070-1760-4964 FAX:06-6567-8058



浪速区医師会 活動の伝言板

令和4年4月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

3歳児健康診査

- 保健福祉センター
4月28日(木)午後1時40分～3時30分
小児科 愛染橋病院
小児科 有田 繁広
耳鼻科 愛染橋病院

1歳6ヶ月児健康診査

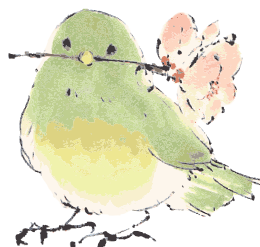
- 保健福祉センター
4月7日(木)午後1時40分～3時30分
小児科 川田 信哉
小児科 有田 繁広

BCG接種

- 保健福祉センター
4月21日(木) 午後2時～3時30分
北村 栄作・愛染橋病院

急病診療所出務

- 中央急病診療所
4月15日(金) 深夜22:00～30:00
中山 博文
- 今里急病診療所
4月17日(日) 日勤10:00～17:00
木田 徹・川田 信哉



ドクターの
あらゆる要望にお応えします。



〒542-8580 大阪市中央区上本町西3-1-5
TEL 06-6768-2071(代) FAX 06-6768-2012

さまざまな
事業を展開しています。

詳しくは ➡ 大阪医協



医 業

医療機器、医療消耗品販売からクリニック開業支援まで、
医業に関する幅広いサポートを行っています。
また、豊富な経験を持つ専門家による相談会も実施。

- ✓ 医療消耗品・白衣販売
- ✓ 医療機器販売
- ✓ 展示会・各種セミナー
- ✓ 新規開業・継承支援・リフォーム



く ら し

趣味や教養を深めるイベントから旅行、住まいのご相談まで、
皆様のプライベートを応援。

- ✓ 医師のステータスカード JAPAN DOCTOR'S CARD
- ✓ 書籍販売サイト「KNOWLEDGE WORKER」
- ✓ 住まいの割引制度「ハウジングサポート」
- ✓ ドクターズツアー、パッケージツアーの割引特典



保 険

医業とくらしを取り巻くさまざまなリスクに備え、充実のライン
ナップをご用意しております。スケールメリットを活かした割安な
掛け金で、万一の事態に備えることができます。

- ✓ 損害保険(医師賠償責任保険・所得補償保険 など)
- ✓ 生命保険(グループ保険・団体扱い制度 など)



あとがき

中村 泰久

3月に入り日中かなり暖かくなってきました。花粉の飛散も本格的になり花粉症の患者さんはつらい時期となりました。われわれ耳鼻咽喉科医としては患者さんが多く来てくれればありがたいので、花粉が多く飛べばこっそり喜んでしまいます(笑)

早いものでコロナウイルスが世界中に猛威を振るってからもう2年が経ちました。ようやく第6波もピークを過ぎつつありますが、みんなこの生活に慣れてきたようで、暖かくなるにつれて人出も戻りつつあるように思えます。とにかく早くいつもの生活を取り戻せるといいですね。

先日からロシアによるウクライナ侵攻が始まりました。まさか戦争なんて起こらないだろうと思っておりましたが、ニュースでウクライナでの被害にあっている映像を見ると、やはりこれは戦争なのだと痛感いたしました。特に産科小児病院が爆撃にあった映像は非常にショッキングでした。何の罪もない子供たちが被害にあっているのを見てとてもつらい気持ちになってしまいます。早く平和的に終結してほしいものです。

巻頭言で橋村先生がペットロスについて書かれています。ペットによる癒し効果は私も経験したことがあります。私の祖母が認知症で施設に入所していた時、私が飼っていたチワワを連れて行ったことがあります。それまで無表情だった祖母がチワワを抱っこしたとたん赤ちゃんをあやすみたいに笑顔になりずっと撫でていたことを思い出しました。飼っていたチワワはいままではみんな大病することなく寿命で天寿を全うしておりましたが、一昨年生後7カ月の子犬を不慮の事故で亡くしてしまいました。さすがに今は立ち直っていますが、その当時半年ぐらいいわゆるペットロスに陥っていたと思います。ふ

とした時に急に思い出して涙が止まらなくなることもありました。今は老犬の先住犬一匹と暮らしております。突然の別れは悲しいですが、短い間でしたがそれまで我々夫婦に家族の一員として与えてくれた癒しは何物にも代えがたいものになっております。

話は変わりますが、偶然ひょんなことから京セラドーム大阪で行われる今年の阪神タイガースの開幕試合のプラチナチケットを手に入れることができました！昨シーズンは開幕3連勝から始まり、交流戦までは断トツの首位を独走し、今年こそはと期待させましたが、後半はいつものように失速し阪神ファンとしてはがっかりさせられました。最近のドラフトは佐藤輝明をはじめなかなかいい即戦力選手を獲得できており、今シーズンのドラフトでもいい選手を獲得できており、オープン戦ではシュアなバッティングが光る前川選手やドラフト1位の森本投手、桐敷投手などが開幕1軍も期待できそうな活躍をしており、今の戦力に加え彼らが活躍してくれば、昨シーズン以上の成績も期待できそうです。せっかく手に入れたチケットですので心から楽しめたいと思います。



目次	ページ
巻頭言	
ペットロス	橋村 直隆 1
理事会報告(2月25日開催)	2
2月学術講演会報告	4
4月学術講演会のお知らせ	5
浪速区在宅医療・	
介護連携相談支援室からのお知らせ	6
浪速区医師会活動の伝言板	7
あとがき	8

【区医だより】

発行者 有田繁広
編集者 中村泰久 金子良恵
印刷所 株式会社 サビ